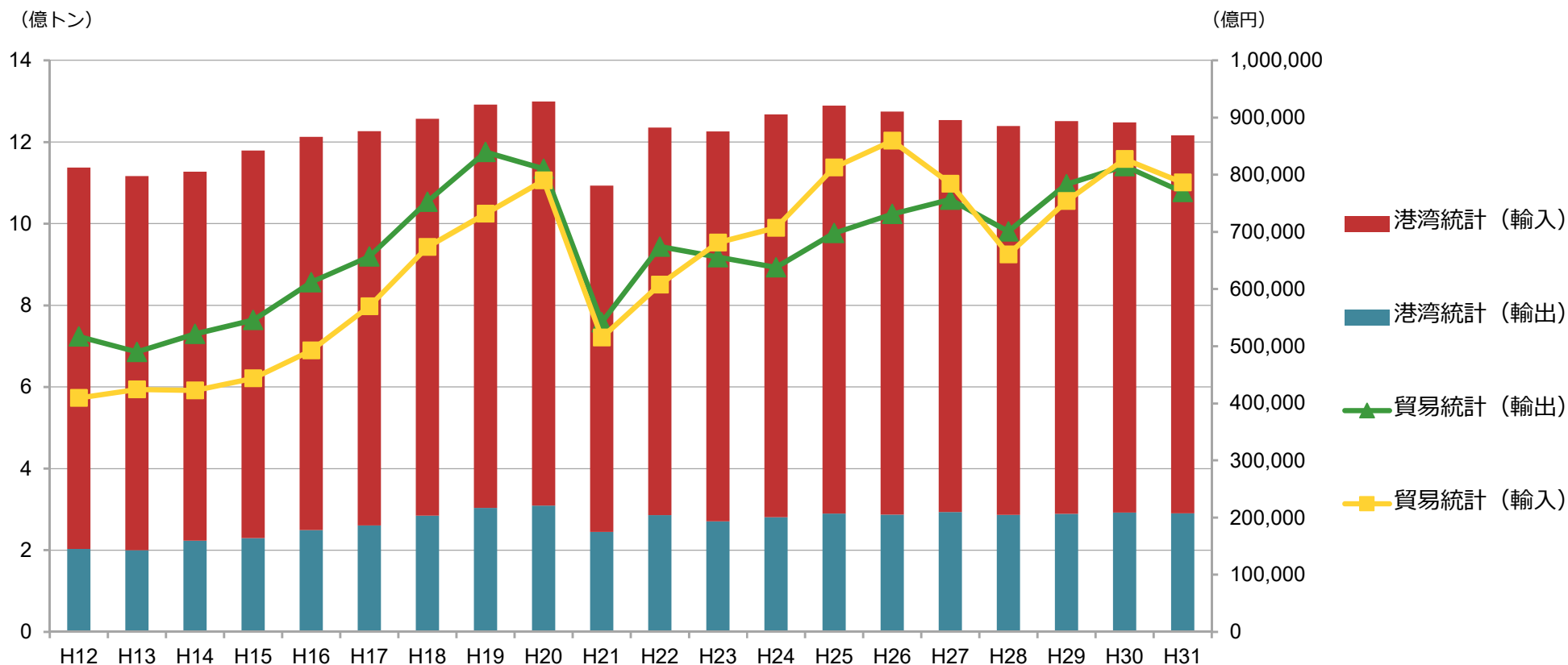


港湾統計（輸出入貨物量）で見ると、輸入貨物量が輸出貨物量よりも多く、平成21年にリーマンショックの影響により、輸出入ともに貨物量が減少しているが、22年以降はほぼ横ばいに推移している。

一方、貿易統計（輸出入価額）で見ると、平成22年以前は概ね輸出価額が輸入価額よりも大きかったが、23年から26年にかけては輸入価額が輸出価額を上回っており、27年以降はほとんど等しくなっている。なお港湾統計と同様に、21年にはリーマンショックの影響により、輸出価額、輸入価額ともに大きく減少した。



(注：貿易統計)

1. 輸出はFOB価格、輸入はCIF価格。
2. 輸出は当該輸出貨物を積載する船舶又は航空機の出港の日、輸入は当該輸入貨物の輸入許可の日（蔵入貨物、移入貨物、総保入貨物及び輸入許可前引取貨物は、それぞれ当該貨物の蔵入、移入、総保入、輸入許可前引取の承認の日）をもって計上。